

6 . 国際的な協力の取組

6-1 知見をいかした国際協力の取組(問 18)

【全体的な傾向】

- 環境保全に関する知見を活かした国際協力の取組について、実施率(既に実施中)をみると、いずれの項目も5%未満であり、全体的には非常に少ないのが現状である。また、「現在検討中」はいずれも「既に実施中」よりも少ない(図表 3-68)。
- 取組項目別みると、『研修員の受け入れ』(既に実施中 67 団体：3.2%)や『国際会議等への参加』(同 63 団体：3.0%)が比較的多い。より積極的な取組である『人材派遣や技術指導・協力』(同 44 団体：2.1%)や『国際会議等の開催』(同 38 団体：1.8%)はまだ少ない。

図表 3-68 環境保全に関する国際協力の取組(全体)

取組項目	既に実施中	現在検討中	予定はない
(1) 開発途上国への人材派遣や技術指導・協力	2.1% (44)	0.7% (15)	95.8%
(2) 開発途上国からの研修員の受け入れ	3.2% (67)	0.9% (18)	94.4%
(3) 環境保全に関する国際会議等の開催	1.8% (38)	0.7% (14)	96.0%
(4) 環境保全に関する国際会議等への参加	3.0% (63)	1.1% (24)	94.3%

(注)()内の数字は、団対数を示す。 n = 2,101

【基本属性別の特徴】

- 都道府県と政令指定都市の国際的取組の実施率は4～7割強で、かなり積極的である(図表 3-69)。
- 市区町村では、いずれの取組についても実施率は非常に低く、1%前後である。

図表 3-69 環境保全に関する国際協力の取組(基本属性別) (%)

取組項目	都道府県 n = 47		政令都市 n = 13		市区町村 n = 2,041	
	実施中	検討中	実施中	検討中	実施中	検討中
(1)人材派遣や技術指導・協力	51.1	2.1	53.8	15.4	0.6	0.6
(2)研修員の受け入れ	74.5	6.4	76.9	15.4	1.1	0.6
(3)国際会議等の開催	40.4	4.3	46.2	7.7	0.6	0.5
(4)国際会議等への参加	51.1	6.4	61.5	15.4	1.5	0.9

(注)網掛けは、40%以上を示す。

【市区町村の属性別の特徴】

- 国際的取組を行う団体数が少ないため、人口規模別の傾向は分からないが、10万人以上でやや多い(図表 3-70)。

図表 3-70 市区町村における環境保全に関する国際協力の取組(人口別) (団体)

取組項目	1万人未満	1~3万人未満	3~5万人未満	5~10万人未満	10万人以上
(1)人材派遣や技術指導・協力	3	0	1	1	8
(2)研修員の受け入れ	6	0	1	0	15
(3)国際会議等の開催	1	0	2	0	10
(4)国際会議等への参加	1	2	3	6	19